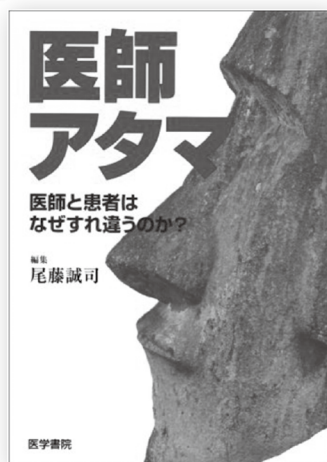


今月の特集関連本 ②

**医師アタマ**

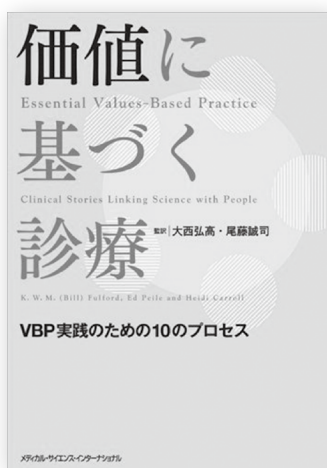
医師と患者はなぜすれ違うのか？

尾藤誠司＝編

本体 2,200 円＋税／220 頁／医学書院／2007

本稿の筆者・尾藤誠司先生が、本誌（旧『JIM』）13 巻 4 号～15 巻 7 号（2003 年 4 月号～2005 年 7 月号）にて執筆された連載「患者の論理・医者論理」に加筆して書籍化されたもの。“医師アタマ”では、患者への共感は生まれません。

「EBM が、本当に医療を受給する人にとって利益のあるものであるために」を模索した 1 冊。医師のなかでは当たり前の考え方も患者には極端で奇天烈なものかもしれないと考えた 7 人のプライマリケアのドクターが、論理的に、evidence-based に、医師と医師以外の世界の違い、医師の思考過程の特殊性に迫る。医師と患者がともに最善の選択を探すうえで必要なもの、医師も患者もハッピーになれる医療のカタチがここにある。

**価値に基づく診療**

VBP 実践のための 10 のプロセス

大西弘高、尾藤誠司＝訳

本体 5,200 円＋税／320 頁／メディカル・サイエンス・インターナショナル／2016

本稿文献にもあげられた、尾藤誠司先生らによる最新の翻訳本。「価値に基づく診療＝VBP(values-based practice)」を臨床でとり入れる方法について、具体的な事例を踏まえながら解説しています。

患者・医師間のコミュニケーションにおける問題解決を 10 のプロセスに分解し、より満足度の高い意思決定を導き出す。VBP を実践に活かしたい医師への心強い指針。